



大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号

TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121

E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp URL http://oskougai.com/

発行責任者 金谷 邦夫 年間購読料一部2,000円(送料共)

月下美人  
画・加納忠



第22回環境学校が8月19日に大阪市内で開かれ、75名の参加がありました。

当日は兵庫医科大学公衆衛生学教授・島 正之氏より、「大気汚染の健康影響」と題して、大気汚染による健康への影響についてのお話がありました。

最初に、大気汚染によって亡くなったり、病気の具合が悪くなったり、病院に行くほどでなくともセキやタン等の自覚症状が出たり、あるいはもっとわずかでも体に様々な生理的变化が起こる等、非常に多くの人が大気汚染の影響を受けており、WHOが大気汚染による健康被害について、短期的なものと長期的なものがあるとして、大気汚染濃度と様々な病気の有症率についての研究を行っていると話されました。

日本においては、四日市公害における二酸化硫黄濃度と有症率の関係、文科省が行っている

## 大気汚染による健康影響を考える 第22回 環境学校



学校保健統計、そらプロジェクト、環境保健サーベイランス調査等の例を挙げられ、大気汚染濃度とぜん息などの様々な病気とは関連性が高い事を述べられました。

今や世界中で、大気汚染は呼吸器系疾患をはじめとして、心臓病、脳卒中などの循環器系疾患にも大きな影響を与え、2012年には300万人の人が死亡しており、大気汚染問題を世界的な問題として、取り組んでいくことが重要であると締めくくられました。

続いて公害測定研究会の西川榮一氏が、「大気汚染に係る環境保健サーベイランス調査」の解析方法に問題があることを報告され、重要なことは、NO<sub>2</sub>の濃度が環境基準を下回っていても、ぜん息有症率への影響が表れていることにあるとの報告がありました。なお、NO<sub>2</sub>データについては、生活現場で測られているソラダスがまともあるとも話されました。

最後に休憩時間に参加者に書いていただいた質問について、まとめて島先生に応えていただくという形での質疑応答をもって終了しました。

(柏原 純夫)

### 大気汚染の健康影響の種類

#### 短期曝露による影響

- ・日死亡
- ・呼吸器系・心血管系疾患による入院、救急受診、外来受診
- ・呼吸器系・心血管系の医薬品の使用
- ・活動制限が必要な日数
- ・仕事の欠勤、学校の欠席
- ・急性症状（喘鳴、咳嗽、喀痰、呼吸器感染症）
- ・生理機能の変化（肺機能など）

#### 長期曝露による影響

- ・心血管系・呼吸器系疾患による死亡
- ・慢性呼吸器疾患の罹患および有病（喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性の病的変化）
- ・慢性的な生理機能の変化
- ・肺癌
- ・慢性の心血管系疾患
- ・子宮内発育の制限（低出生体重児、子宮内発育遅延）

(WHO Air Quality Guidelines: Global Update 2005)

当日資料より作成